

平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年7月27日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 クリップコーポレーション
 コード番号 4705 URL <http://www.clip-cor.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 井上憲氏

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部担当兼マネージャー (氏名) 徳野順一

TEL 052-732-5200

四半期報告書提出予定日 平成24年8月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	1,077	△2.1	78	△36.1	79	△38.3	8	△83.5
24年3月期第1四半期	1,100	4.3	122	19.8	128	21.3	52	34.0

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 21百万円 (△56.5%) 24年3月期第1四半期 50百万円 (9.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	1.94	—
24年3月期第1四半期	11.73	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	6,285	5,201	82.8
24年3月期	6,319	5,359	84.8

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 5,201百万円 24年3月期 5,359百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	0.00	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,523	3.8	527	9.6	530	6.4	312	14.2	69.73
通期	5,136	3.7	1,107	6.8	1,113	5.1	656	5.8	146.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(その他)」に関する事項(2)「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(その他)」に関する事項(3)「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	4,536,000 株	24年3月期	4,536,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	50,605 株	24年3月期	50,549 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	4,485,448 株	24年3月期1Q	4,485,451 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、欧州債務危機や円高等の影響から落ち着きを取り戻しつつありますが、依然として予断を許さない状況となっております。

学習塾業界におきましても、新学習指導要領の実施に伴い、受験や補習のニーズは高まっておりますが、各学習塾のシェア争いは過激さを増しております。

こうしたなか、当社グループにおきましては、積極的な中途採用と理科実験授業・野外体験授業及び農業体験授業などの新たな教育サービスの提供等、従来からの対策を継続して取り組んでおります。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高10億77百万円(前年同期比23百万円減)となりました。

利益面につきましては、営業利益78百万円(前年同期比44百万円減)、経常利益79百万円(前年同期比49百万円減)、四半期純利益8百万円(前年同期比43百万円減)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(教育事業)

子会社である株式会社螢雪ゼミナールを含む当第1四半期連結累計期間の平均生徒数は8,039名(前年同期比0.9%減)となりました。この結果、売上高は5億98百万円(前年同期比7百万円減)となり、セグメント利益は、10百万円(前年同期比22百万円減)となりました。

(スポーツ事業)

一方、スポーツ事業につきましては、当第1四半期連結累計期間の平均生徒数は22,097名(前年同期比4.9%減)となり、売上高3億96百万円(前年同期比14百万円減)、セグメント利益は、87百万円(前年同期比17百万円減)となりました。

(飲食事業)

添加物・保存料を使用しない弁当の宅配事業を展開しており、当第1四半期連結累計期間の売上高は66百万円(前年同期比1百万円減)、セグメント損失は11百万円(前期セグメント損失10百万円)となりました。

(その他)

化粧品販売事業・金属加工事業・バスケット教室の運営・農業事業を行っており、当第1四半期連結累計期間の売上高は18百万円(前年同期比1百万円増)、セグメント損失は8百万円(前期セグメント損失5百万円)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産合計は52億80百万円(前連結会計年度末比1百万円増)となりました。

これは主に、現金及び預金が18百万円増加したことによるものであります。

(固定資産)

当第1四半期連結会計期間末における固定資産合計は10億5百万円(前連結会計年度末比35百万円減)となりました。

これは主に、投資その他の資産が38百万円減少したことによるものであります。

(流動負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債合計は10億28百万円(前連結会計年度末比1億17百万円増)となりました。

これは主に、短期借入金が70百万円増加したことで賞与引当金が50百万円増加したことによるものであります。

(固定負債)

当第1四半期連結会計期間末における固定負債合計は55百万円(前連結会計年度末比5百万円増)となりました。

これは主に、退職給付引当金が5百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は52億1百万円(前連結会計年度末比1億57百万円減)となりました。

これは主に、配当金の支払い等により利益剰余金が1億70百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期の連結売上高及び営業利益等は、概ね予想と同程度の水準で推移いたしました。

売上面では、主たる事業であります教育事業及びスポーツ事業におけます平均生徒数がほぼ予想値と同程度であったことが主な要因であります。

営業利益面では、指導要領改訂に伴う教材のコストアップや採用拡大に伴う費用の増加傾向が引き続きありますが、他のコスト削減の徹底等により、利益確保を行ってまいります予定であります。

連結業績予想は、第2四半期以降において積極的な入会活動と同時に効率的な組織運営によるコスト削減に努めることで、第2四半期累計期間及び通期共に前回公表数値と同額を予想しております。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる影響額は、軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,011,070	5,029,461
受取手形及び売掛金	27,009	19,867
商品及び製品	91,134	89,725
原材料及び貯蔵品	12,838	10,590
その他	136,924	130,888
貸倒引当金	△7	△7
流動資産合計	5,278,970	5,280,526
固定資産		
有形固定資産	306,999	309,419
無形固定資産	25,496	25,243
投資その他の資産	708,460	670,381
固定資産合計	1,040,956	1,005,044
資産合計	6,319,926	6,285,570
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	33,741	30,930
短期借入金	250,000	320,000
未払法人税等	229,037	30,266
賞与引当金	83,632	133,903
資産除去債務	1,617	1,620
その他	312,366	511,542
流動負債合計	910,395	1,028,263
固定負債		
退職給付引当金	26,704	32,211
資産除去債務	14,172	14,216
その他	9,182	8,910
固定負債合計	50,059	55,338
負債合計	960,454	1,083,602

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	212,700	212,700
資本剰余金	29,700	29,700
利益剰余金	5,166,025	4,995,296
自己株式	△37,086	△37,139
株主資本合計	5,371,339	5,200,557
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△11,867	1,410
その他の包括利益累計額合計	△11,867	1,410
純資産合計	5,359,472	5,201,968
負債純資産合計	6,319,926	6,285,570

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	1,100,499	1,077,413
売上原価	685,119	715,887
売上総利益	415,379	361,526
販売費及び一般管理費	293,237	283,505
営業利益	122,142	78,020
営業外収益		
受取利息	2,201	291
受取配当金	1,346	1,119
営業権譲渡益	2,348	—
その他	1,936	829
営業外収益合計	7,833	2,239
営業外費用		
支払利息	1,008	923
その他	323	11
営業外費用合計	1,332	934
経常利益	128,642	79,325
特別損失		
固定資産除却損	1,469	2,223
投資有価証券評価損	—	28,145
特別損失合計	1,469	30,368
税金等調整前四半期純利益	127,173	48,957
法人税等	74,577	40,268
少数株主損益調整前四半期純利益	52,595	8,688
四半期純利益	52,595	8,688

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	52,595	8,688
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,120	13,278
その他の包括利益合計	△2,120	13,278
四半期包括利益	50,474	21,967
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	50,474	21,967
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注)1 (千円)	合計	調整額 (注)2 (千円)	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3 (千円)
	教育事業 (千円)	スポーツ事業 (千円)	飲食事業 (千円)	計 (千円)				
売上高								
外部顧客に 対する売上高	606,012	411,399	68,451	1,085,863	14,635	1,100,499	—	1,100,499
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	1,760	1,760	△1,760	—
計	606,012	411,399	68,451	1,085,863	16,396	1,102,259	△1,760	1,100,499
セグメント利 益又は損失 (△)	32,921	104,590	△10,185	127,326	△5,184	122,142	—	122,142

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、化粧品販売事業・金属加工事業・バスケット教室事業及び農業事業を含んでおります。

2. 調整額はセグメント間取引の消去であります。

3. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注)1 (千円)	合計	調整額 (注)2 (千円)	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3 (千円)
	教育事業 (千円)	スポーツ事業 (千円)	飲食事業 (千円)	計 (千円)				
売上高								
外部顧客に 対する売上高	598,659	396,410	66,526	1,061,596	15,817	1,077,413	—	1,077,413
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	2,528	2,528	△2,528	—
計	598,659	396,410	66,526	1,061,596	18,346	1,079,942	△2,528	1,077,413
セグメント利 益又は損失 (△)	10,840	87,332	△11,789	86,383	△8,362	78,020	—	78,020

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、化粧品販売事業・金属加工事業・バスケット教室事業及び農業事業を含んでおります。

2. 調整額はセグメント間取引の消去であります。

3. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。